

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

全体での意見共有

(総合 F) 皆さん、本当にお疲れ様でした。それでは、全体での意見共有に移ります。

発表の方法ですが、グループワーク 1 については宿主さんが、グループワーク 2 についてはくじに「発表」と書いてある方が、それぞれ説明する、という形でよろしく願います。

実は、あまり時間がなくなってまいりました。それぞれ 2 分ずつでお願いします。

順番は、B 班、A 班、C 班です。それでは、A 班、C 班の方、どうぞこちらの B 班の発表が見えるところに集まっていただけますか。発表を聞いていただいてから、質問がある方には、すぐに質問していただくことにします。

今日は、原子カムラとは何だろうかということでお話をさせていただきました。それぞれのグループが一体どんなことを話したのか、ぜひここで共有していただきたいと思います。

それでは、まずは暖かい拍手からお願いいたします。

(拍手)

—— グループワーク 1 の部分を説明させていただきます。どちらかといえば後半のほうに伝えたいことがたくさんあるので、手短にやりたいと思います。まず、こちらは技術的な問題を取り上げました。〔エネルギー問題〕。〔原子力発電所の安全性に対する問題〕が一番大事なことだろうと。我々市民も、専門家の方も、これがかなり大事だと捉えています。

次に、こちらは「人の問題」です。一般市民の方はそんなに重要だと思っていないのかもしれませんが、どちらかという専門家の方が重要だと思っているのは〔差別用語〕という意見です。ムラという用い方があまりよくないのかもしれませんが、私たち一般市民はそれほど重要だとは捉えていないけれども、専門家の方々はかなり重要だと捉えております。続いて、〔相手を理解しようとしなさい〕。こちら専門家の方が重要だと思っております。私たち一般市民は、説明される側なので、あまり重要だとは思っていないのかもしれませんが。専門家の方は、相手を理解しようとしなさい、差別用語、ムラという用い方があまりよくない、という意見を非常に重要な問題だと捉えております。

そうしたら、グループワーク 2 の説明に移りたいと思います。

—— はい。上の付箋を基に意見が出たのですけれども、左から順番に行くと、「原子力への要望」については、安全性をもっと語ってほしいというご意見がありました。

あと、そもそも「議論すべきこと」として、エネルギー問題全体のプライオリティをど

うするのか、長いスパンで考えなければならないという意見がありました。

この段階で、やはり皆さんが原子力について語りたいことがもうバラバラで、ポイントは、そういうふうに語りたいことがそもそも異なるということを前提にしないと、議論は永遠に平行線であるし、納得した議論ができないということで、「議論の前提が違うことをまずは理解したほうがいい」という話になりました。

あとは、「議論の仕方」について、例えばこうした車座、あ、車座よりももっと少ないですね、数名での議論がまずは信頼の醸成には重要であるという意見。あとは、お互いの主張しかしないで、かみ合わないのではないのか。このような、こういう議論の仕方がいいという意見がありました。これも議論の前提が違うことを理解しようという話になります。

あとは、ムラという言葉について、我々は非難される側ですので、非常に差別的な言葉だと受け取るのですけれども、一般の方は、差別と思う方と思わない方が意外というところ。これは一般市民から出された意見です。あとは、実は今まで「ムラ」という言葉を何も意識しないで使っていたけれども、相手も人間であるということを考えるべきだという話にもなりました。そういう意味では、議論の前提が違うことや、相手も人であるということも大事だという話です。

最後に、「解決法」ということですのでけれども、医学界は改善されたのではないかとか、説明責任こそがカギではないかということで、他分野の事例を参考にしてみようか。

「感じ方」ということで、まず信頼関係を結ぶことが必要ではないか。そういった話になりました。以上です。(拍手)

(総合 F) ありがとうございます。それでは、質問がある方はどうぞ。

よろしいですか？ では、私から。今の発表は、最後に、「議論の前提が違うことを理解する」ということに集約していただきましたが、その意見を最初に発表された方はどなたですか？ その方に、一言感想を一言言っていただければと思います。

—— 私なのですが。ただ、先ほどの議論の中で他の方からもご意見が出ていたので、ぜひ。

—— 発表者さんがおっしゃった通りですよ。これだけ長い期間、議論がかみ合わないような状況がずっと続いているということで、やはり前提、最初の段階に戻って、早く推進してほしいという気持ちがあります。発表者さんもそうした形で発表されたと思います。

—— ちょっといいですか。議論（の前提）が違うということは重要だとは思いますが、事実が違うということももっと重要だと思います。私は、この問題は、事実が違うと思います。

(総合 F) ありがとうございます。事実や議論の前提など、いろいろな意味で違うけれども、それを理解した上で話をしちゃんといこうと。逆に、そういう違いを皆が分かるということが、中心テーマになったということですね。まだこれから 4 回ありますので、皆さんで今後も議論を深めていただければと思います。それでは、B 班さん、ありがとうございました。(拍手)

次は A 班さんですので、視点を右のほうに移していただければと思います。

—— A 班のグループワーク 1 では、「メリットでつながる関係」というグループの意見が多く挙がりました。

それから、「ムラ」のイメージに対する意見がこれくらい。

ムラに他との壁があるということで、「一般との壁」ということで、このくらい話が出ています。

ムラに関しては、原子力学会員のほうから、ネガティブなイメージもいろいろ出ています。確かに言葉に問題があって、B 班の方が言われたような話も出ています。

そして、一般との壁への「解消策」として、専門家が独善を自省するための良い機会であるとか、意見の受容とか、初動対応システム、意見の共有、外に発信する、違いを知らせるなどの意見が出ました。

「原子力」というよりは、「ムラ」とはどんなものか、というイメージが強い話し合いだったと思います。以上です。

(総合 F) すみません、最後が聞き取れなかったので、もう一度言っていただけますか。

—— 「原子カムラ」というよりも、原子力を取った「ムラ」とはどんなものか、という話のほうが多かったと思います。

(総合 F) 分かりました。ありがとうございます。(拍手)

—— A 班の「感想」や「なるほど」の意見ですが、先ほどの話にありました「一般との壁」という部分が大きく盛り上がりました。「壁」のイメージは何なのか、専門家と一般市民に対する壁の双方性がどうなっているのか、という部分が一番大きな疑問になっていました。

例えば、専門家が言っている意見と、市民が思っている意見が、必ずしも同値ではない。一致しているところもちろんあるのですが、複雑怪奇な、例えば原子の場合はいろいろ化学式などがありますので、一般の人がちょっと理解できないということで、壁があるのではないかと、というところが大きくクローズアップされていました。以上です。(拍手)

(総合 F) ありがとうございます。それでは、質問をしていただければと思います。

—— 今の「壁」のイメージがよく分からなかったのですが、具体的にはどういうことなのでしょう？

—— ええと、難しいのですけれども、専門的な知識を説明されたときに、一般の方と専門家の持つイメージが違うのではないかと。例えば、1ベクレルが安全なのかどうか。専門家の方々は安全ですと言うけれども、一般の人は、1ベクレルは危ないのではないかと思う。その差ですね。それが壁なのではないか、という話になります。

(総合 F) ありがとうございます。他に質問があれば。

では、私から質問させていただきたいのですが、「一般との壁」や、それに対する「解消策」のことをずいぶん話し合われたようですが、解消策に関して、具体的に何か、もう少し語っておこうということがあればと思うのですが、どうでしょうか。

—— 解消策に関しては、特に、うーん、(グループワーク 2 では) していないですよ。

(総合 F) そうですか。分かりました。何か、A 班の方でコメントがある方はいますか？

—— 専門家サイドから、壁とその解消策ということについて申し上げておきたいことができたので、せっかくなので一言だけ。

先ほどの発表にもありましたけれども、市民の方から、数字がピンとこないというご意見がありました。専門家から言わせれば、そういうプレゼンテーションするときは、だいたい最初に例を出しているのです。「世界中を探すと、自然放射線でこれくらいの数字が出るところがあります。飛行機で飛んだらこれくらいです」。そういった説明が、やはり印象に残っていなかったのだなと思いました。

こちらからお願いしたい、あるいは、解消策として市民の方に考えてほしいのは、何が分からないのかを言ってください、ということです。専門家の立場としては、分かるように言ったつもりなのです。「分からない」と言ってくれなかったら、じゃあ分かったのですね、ということになってしまいますので。それはもちろん、具体的でなくてもいいのです。あるいは、「言っていることは分かった。でも、なんか怖い」でも構いません。そう言うだけで、アプローチが変わってくるのです。市民の側から、両方が壁を作っている、あるいは、壁は 2 枚だという意見があったのですけれども、今申し上げたようなことが、市民の側のほうから作られているのではないかと専門家が感じる壁のひとつです。

(総合 F) ありがとうございます。先ほど B 班からも、議論の前提が違うことを理解するというお話がありました。前提の違いを理解して、ではどうするのか、みたいなことも

大事だなと思いながら伺っておりました。ありがとうございます。(拍手)

では、最後に C 班さん、お願いします。

—— C 班は、原子カムラとは何だろうかということについて、5つのカテゴリーに分けてまとめました。

1 番目は、原子カムラを「場所」として捉えた場合です。集中母体とか、事故現場であるとか、そういった場所としての扱い方です。

2 番目は、原子力に関わる団体や人たちであるというような、「人」としてのカテゴリーです。

3 番目は、実際の「定義」として、ムラとは排他性を持つものではないかというものです。A 班、B 班の発表にもありましたように、排他性、いわばなかなか入り込めないようなものではないかということですね。

4 番目は、全体的な「概念」として、やはり一般の人とは違うものではないか。意見がなかなか出てこない場所ではないか。あくまでもマスコミが作ったレッテルではないか。悪いイメージがある。というようなことです。

まあ 5 番目もありますけれども。

そして、グループワーク 2 では、3 番目、4 番目を変えることをいろいろ議論したということになります。よろしくお願いします。

—— C 班のグループワーク 2 では、皆さんから出た意見を、グループ分けというよりも、ムラの再定義というところから派生した形でまとめてみました。

まず、ムラの再定義、そもそもムラとは何かということで、意識を共有させようということになりまして、排他性のある利益共同体ということでムラを定義してみました。

その排他性ですが、経産省のパブコメは機能していないのではないかという意見が出ました。それに対して、マスコミが作ったレッテルも、その後悪いイメージが定着しているとか、情報の真偽が分からないままで、「離れたところにある場所」なので、意見が届かないし、意見をくみ上げてもらえないというようなことになりました。

国民に対してレスポンスはあったかという問いに対しては、レスポンスがないのではないかということになりました。

その後、派生した問題として、放射能の健康問題に対しても、全然情報が届かないような状態にあるのではないか、ということでまとまりました。すみません、うまくまとまらないで。以上です。(拍手)

(総合 F) ありがとうございます。どうぞ、質問をしていただければと思います。

—— すみません、正直聞いていてよく分からなかったのですけれども。排他性という意

見があるのですけれども、パブリックコメントとか、ICRPもおかしいという議論のところがよく分からなくて。グループワーク 2 でどのような議論がなされたかが分からなかったのですけれども。

ムラの再定義をされて、排他性のある利益共同体であるということ原子カムラと定義した後は、

—— それに対して、

—— それは私が話したことなので。

情報がきちんと皆さんに伝わっていないという話について、情報のもとがおかしいという意味でお話をしました。ちょっと専門的になったりするので、簡単に私の考えを言います。まず、ICRPがおかしいというのは、内部被ばくについてです。ICRPは平均的に体の中で線量を議論するようにしています。内部被ばくの問題は、目に目薬を差したら効くけど、口から飲んだら目薬は効かないですよ。でも、ICRPの内部被ばくの基準は、単純に言えば口から飲んだ基準です。それは専門家の方も考えていただければ分かると思います。

それから、パブリックコメントについては、例えば、前政権があれだけの国民的議論の場を通じてやったものを、経産省本部会は全て無視しました。これが国民の意見を聞いていることになりませんか、ということです。私は廃棄物の最終処分の委員会もずっと傍聴していましたが、最終的に課長が言ったのは、「今回意見を挙げてきた人たちは、皆、言いたかった人たちだけだよ」と言っていました。とんでもないと思います。原子カムラの一番根っこは、官庁です。役人です。という意見を私は言いました。

(総合 F) ありがとうございます。

—— すみません、これを言うのはなんですけれども、お一人のご意見を伺いたいわけではなくて、皆さんのご意見を伺いたかったのが、他の方からもいただければと思ったのですが、それはまた後ほど。

情報のもとがおかしいというお話については、たぶん専門家もあわせて議論すべき話題で、市民の方はなかなか難しいかなと思いますので、

—— ついてこられないと思います。

—— 意見が通らないとか、悪いイメージがあって、その後の処理というか、

—— やり方がまずいのではないかということですか？

—— そうですね。

—— 分かりました。ありがとうございます。

(総合 F) ありがとうございます。今の質問やお答えで少しずつ皆さんも明確になってきたと思うのですが、原子カムラについて再定義をしようと思って話して下さったと。その中で、情報そのものがきちんとできていないのではないか、あるいは、それがきちんと伝わっていないのではないか、その辺にまずは大きな壁があるのではないか、その辺の意見交換が中心になったということによろしいでしょうか？

—— はい、ありがとうございます。そうです。

(総合 F) どうもありがとうございました。お疲れ様でした。(拍手)